

4月3日(日)

せいしょ
聖書

そうせい き
創世記 1・1～31

せいこく
聖句

はじめに神は天と地とを創造された。1 節

入学、おめでとう！進級、おめでとう！桜の花や、チューリップの花といっしょに写真を写してもらいましたか？本当にうれしい春ですね。とてもきれいなたくさんのお花や、ぽかぽか暖かい太陽の光や、サラサラ髪をなでていくそよ風や、緑の木や草、澄んだ青い空にぽっかり浮かぶ白い雲。一体、いっとうやってできたのかしらと思いませんか。実はこのすばらしい天と地は神様によって造られたのです。何も無いところに、み言葉によってです！

いの
祈り

天のお父様、あなたが、はじめに天と地にあるすべてのものをみ言葉によって造られたことを信じます。



せい
聖

しょ
書

そうせい き
創世記 1・1～31

テ

ー
マ

てん ち そうぞう かみ
天地創造の神

あんしやうせい
暗唱聖句

はじめに神は天と地とを創造された。
創世記 1・1

もく
目

ひょう
標

てん ち そうぞう かみ しん
天地創造の神を信じる。

4月5日(火)

せいしょ
聖書

そうせい き
創世記 1・6～8

せいこく
聖句

神はまた言われた、「水の間にとおおざらがあって、水と水とを分けよ」。6 節

第二日目は？神様は「おおざら」を造られました。水と水の間に「おおざら」です。ですから、おおざらの下の水と、おおざらの上の水とが、おおざらによって分けられたのです。その造られた「おおざら」を、神様は「天」と名づけられました。どこまでも、どこまでも青い空を見つめたことがありますか？何だか吸い込まれていきそうですね。神様がお造りになられた「天」は、何て雄大なのです！う！神様のおこころもきつとおおざらのよう！

いの
祈り

天のお父様、あなたが造られた水と水の間のとおおざらは、まるであなたのおこころをあらわしているようです。

4月4日(月)

せいしょ
聖書

そうせい き
創世記 1・3～5

せいこく
聖句

神は「光あれ」と言われた。すると光があった。3 節

やみ、やみ、くらやみ、まっくらやみ。そこに突然、神様のみ言葉でした、「光あれ」。すると光がありました！神様はその光を「光」と呼んで、良しと満足されたのです。神様はその光とやみとを分けられました。そして光を昼と名づけられました。やみを、夜と名づけられました。はじめに神様の言葉で造られたのは、「光」だったのです。み言葉の力です。タとなって、また朝となりました。これが第一日目のことでした。

いの
祈り

天のお父様、やみのただ中に、あなたが「光あれ」と言われると光がありました。み言葉の力に感動します。

4月7日(木)

聖書

創世記 1・14～19

聖句

神はまた言われた、「天のおおぞらに光があつて昼と夜とを分け、しるしのため、季節のため、日のため、年のためになり、天のおおぞらにあつて地を照らす光となれ」。

14～15節

はい、四日目ですよ。四日目にや
つと、屋の大きい光、つまり太陽が造
られ、夜の小さい光、月が造られまし
た。それにまたまた、数え切れない
ほどの星を造り、天のおおぞらに、宝
石のようになりばめられたのでした！
これらの光で、一日一日、一週間、一
週間、一ヶ月、一ヶ月、一年一年、
春夏秋冬が刻まれていくのです。何
と驚くべき神様が造られた天の法則
なのでしょう！

いのちの祈り
天のお父様、このような天体をあなたは造られただけでなく、今もちゃんと保っておられるのがスゴイです。

4月6日(水)

聖書

創世記 1・9～13

聖句

神はまた言われた、「天の下の水は一つ所に集まり、かわいた地が現れよ」。9節

では、三日目は？ 天の下の水を一つ所に集められたのです。するとそこにかわいた地が現れました。神様は、そのかわいた地を「陸」と名づけられました。そして、水が集まった所を「海」と名づけられたのです。ワイー！「海」だ！神様はごらんになって満足されました。三日目にはそれだけではなく、地に青草と、種をもつ草と、種類にしたがって種のある実を結ぶ果樹とをはえさせたのです。みんなの大好きなフルーツは三日目に造られました！

いのちの祈り
天のお父様、あなたのほんの一言で、数え切れないほどのフルーツが造られたかと思うと、ただ驚くばかりです。

4月9日(土)

聖書

創世記 1・24～25

聖句

神はまた言われた、「地は生き物を種類にしたがっていだせ。家畜と、這うものと、地の獣とを種類にしたがっていだせ」。

24節

さあ、六日目ですよ。どんなものが造られたと思いますか？あなたのペットたちですよ！家畜や這うものや、地の獣たちを、種類にしたがっていだせと地に向かって言われたら、そのようになりしました。これまた考えられないほどの種類、それに一匹一匹が、何て複雑に細かく驚くばかりによくできていますこと！神様が良しと満足されたのですから。そして、最後に、神様のかたちにかたどられた人間が造られました。

いのちの祈り
天のお父様、ありとあらゆる動物たちがあなたの言葉で造られたのだと思うと、み言葉のわざをほめたたえます。

4月8日(金)

聖書

創世記 1・20～23

聖句

神はまた言われた、「水は生き物の群れで満ち、鳥は地の上、天のおおぞらを飛べ」。

20節

次、五日目は？ 水の中の生き物と、天のおおぞらを飛ぶ鳥たちですよ。水と言つても、海水、つまりしよっぱい水の中に泳ぐものと、しよっぱくない真水の中にいるものとはまたちがいますよね。さあ、水の中にいる生き物たちの名前、いくつ言えますか？大空を飛ぶ鳥たちの名前は？種類別に言つてくださいますと、ちよつと大変です。動物図鑑がいりますね。神様は良しとされ、祝福して、「生めよ、ふえよ、海の水や地にふえよ」と言われました。

いのちの祈り
天のお父様、あなたの一言で、海や水の生き物、空飛ぶ鳥たちのすべてが造られたと知り、圧倒されてしまいます。

4月10日(日)

せいしよ
聖書

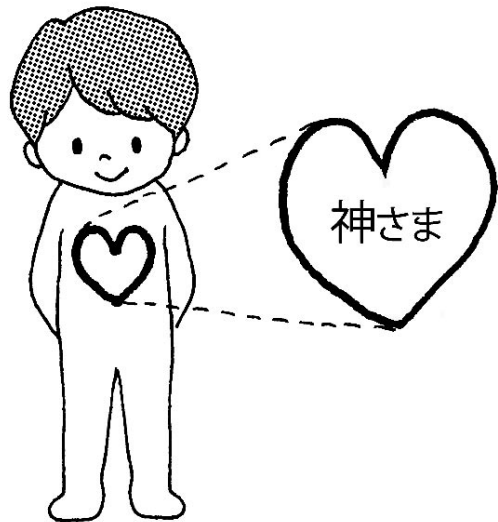
そうせい き
創世記 1・26～31

せいいく
聖句

かみ し ぶん ひと そうぞう
神は自分のかたちに人を創造された。
27節

赤ちゃんが生まれてくる前に、お母さんは
いろんなものを用意します。ちょうどそのよ
うに、神様は私たち人間を造られる前に、世
界のぜんぶを造ってくださいました。
さあ、私たち人間の番です！「地は人間をい
だせ」って言われてできたのではありません！
なんと、人間は特別なかたちに造られました。
「神のかたち」にですよ。しかも男と女とに
造られたのです。他のものと全くちがう特別
な方法でね。今週は、そのルーツをさぐるこ
とにしましょう。

いの 祈り
てん とうさま わたし にんげん
天のお父様、私たち人間をスペシャルな方法で、
あなたのかたちに造られたことを知り、とても興味
深いです。



せい しよ
聖書

そうせい き
創世記 1・26～31

テ マ

かみ つく にんげん
神のかたちに造られた人間

あんしよせい く
暗唱聖句

かみ し ぶん ひと そうぞう
神は自分のかたちに人を創造され
た。 創世記 1・27

もく ひよう
目標

かみ とも あゆ つく もの
神と共に歩むよう造られた者であ
ることを知り、神との交わりに生
きる。

4月12日(火)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 1・27、2・18～25

せいいく
聖句

かみ し ぶん ひと と ぼね
主なる神は人から取ったあばら骨でひ
とりの女を造り、人のところへ連れて
こられた。 2章22節

「人」という漢字は二人の人が寄り添っ
ているみたいでしょう？ 神様は、人がひ
とりでいるのはよくないから、ふさわしい
助け手を造ろうと思われました。そこで神
様は人を深く眠らせて、その時、そのあば
ら骨の一つを取られて、それでひとりの女
を造られたのです。へえ、女は男のあばら
骨だったんだ！ 神様に連れてこられた女
を見て、人は、「これこそ、ついにわたし
の骨の骨、わたしの肉の肉」と叫びました。
その時が人間の結婚の始まりでした。

いの 祈り
てん とうさま おとこ おんな かみ いき こ
天のお父様、男も女も神の息の吹き込まれた、
神のかたちに造られた、尊い存在とわかり、心よ
り感謝します。

4月11日(月)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 1・26、2・7

せいいく
聖句

かみ つく いのち
主なる神は土のちりで人を造り、命の
息をその鼻に吹き入れられた。そこで
人は生きた者となった。 2章7節

どろまんじゅうとか、どろ人形とかこね
て作ったことがありますか？ 神様は土の
ちりで人の体を造られました。うわあ、ど
ろ人間だ。ちり人間だ。そしてその鼻に、
「フーッ！」って、命の息を吹き入れたの
です。すると、どうでしょう！ ちりやど
ろの固まりの人が、動き出し、生きた者とな
ったではありませんか！ 私たちがどろ
人形に息を吹き入れてもダメでしょう？ で
も神様の命の息パワーは、なんてスゴイの
でしょう。ちり人間が生きたのです。

いの 祈り
てん とうさま わたし
天のお父様、私たちのルーツはちりでした。で
もあなたの命の息で生きた者となったのですから
感動です。

4月14日(木)

聖書

創世記 1・29～31

聖句

神はまた言われた、「わたしは全地のおもてにある種をもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなたに与える。これはあなたがたの食物となるであろう。」 29節

ここにははじめの人たちが何を食べていたかが書かれています。全地のおもてにある種をもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とを与えると神様がおっしゃったのです。ということは、葉っぱと、フルーツと、木の実ばかり？他の鳥や獣や動物たちには青い草ばかり与えられたみたいです。「ヒヤーツ、今の時代でよかったよ、野菜は苦手ですばり肉！」と思うかしら？

いのちの祈り
天のお父様、あなたが愛と祝福の思いいっぱいに、人の健康のために食べ物を与えられたのだと信じます。

4月13日(水)

聖書

創世記 1・28

聖句

神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。」 28節

神様は「自分のかたちに造られた人、男と女をとっても喜び、祝福して言われた、た、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ」って。人がどんどん増えていくことを喜び、祝福されたのです。そして、「地を従わせよ」とも言われました。つまり、海の魚や、空の鳥や、地に動くすべての生き物を治めなさいとね。人にはそれほどの力を神様が与えておられたのですね。ライオンとか象とかも、小さなネズミなんかもみんな、人の言うことを聞いたのでしょね！

いのちの祈り
天のお父様、はじめの人たちをあなたはたいに喜び、祝福されたことを知りました。あなたは祝福の神様です。

4月16日(土)

聖書

Iヨハネ 1・1～10

聖句

わたしたちの交わりとは、父ならびに御子イエス・キリストとの交わりのことである。 3節

「朱に交われれば赤くなる」ということわざを知ってますか？「私たちはだれと遊ぶか、一緒にすごすかによって、その人のようになっいきますよ」という意味です。神のかたちに造られた私たちにとっては、「主に交われればよくなる」ということです！ 私たちには父なる神様との交わり、主なる御子イエス・キリストとの交わりが与えられているのです。イエス様の十字架によって罪ゆるされて、神様とのきよい交わりが与えられます。

いのちの祈り
天のお父様、あなたが愛をもってあなたのかたちに造られた私と、交わりつづけてくださり感謝します。

4月15日(金)

聖書

創世記 2・1～4 a

聖句

神はその第七日を祝福して、これを聖別された。 3節

完成！いつでも何でも、完成した時には、心が満足感と達成感と幸福感とでいっぱいになるでしょう？あなたは何を完成させた時そう思いましたか？プラモデル製作！？ビーズ手芸！？ここで、神様は、天と地との中のでのものを造り終えられて、完成したのでした。毎日毎日、「良くできたー」と満足しながら六日間、なしとげられたのですから大安心！大歓喜！そこで七日目をお休みになり、祝福し、聖別され、特別な日と定められました。

いのちの祈り
天のお父様、日曜日は、週に一度あなたを礼拝する大切な日ですが、その始まりがよくわかりました。

4月17日(日)

聖書

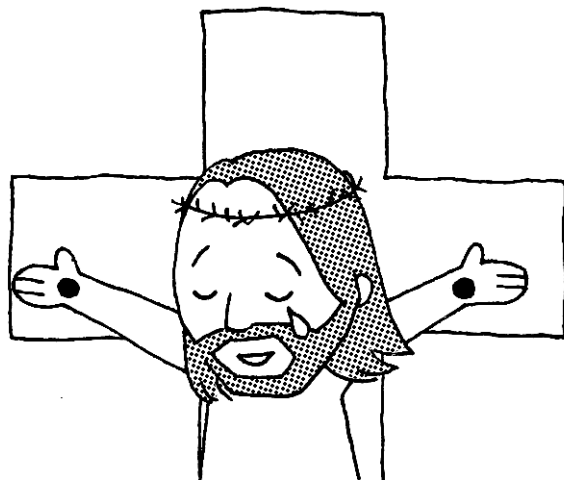
ヨハネ19・28～30

聖句

すると、イエスは…「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた。
30節

父なる神様は、天地のすべてのものを造られ、創造のみわざを「完成」させられました。きょうのみ言葉は十字架の上で叫ばれた七つのみ言葉の六番目です。これは、御子イエス様が、あがないのみわざを「完成」された叫びです。罪のないイエス様の上に、私たちの罪が置かれ、イエス様は身代りに罪人として、神様からの刑罰、死を受けてくださいました。このイエス様を信じなから、すべての罪がゆるされ、滅びより救われます。信じましょう！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様が十字架の上で救いを完成してくださいました。ただ信じて救われますから感謝します。



聖書

ヨハネ19・28～30

テーマ

十字架による救いの完成

暗唱聖句

すると、イエスは…「すべてが終った」と言われ、首をたれて息をひきとられた。
30節

目標

キリストが十字架上で成し遂げられたみわざに信頼し、救いを得る。

4月19日(火)

聖書

ルカ23・39～43

聖句

よく言っておくが、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう。
43節

十字架上の第二言です。世の中の人を大きく二つに分けると、男と女とに分けられます。それともう一つ！この場面のようにイエス様の十字架をまん中に、右と左に分けられるのです。いつまでもイエス様に悪口を言いつづけて、イエス様を信じなかった犯罪人のような人。反対側の犯罪人は、きつとイエス様のお祈りの言葉を聞いて、ハッとわかって、イエス様を救い主と信じて「わたしを思い出して下さい」と言ったとき、きょうのみ言葉が語られたのです。

いのちの祈り 天のお父様、私もイエス様を救い主と信じます。きょうイエス様と一緒にパラダイスにいることを信じます。

4月18日(月)

聖書

ルカ23・32～38

聖句

父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。
34節

十字架上の第一言です。あなたはすぐに「ごめんなさい」と言える子どもですか？人間はみんな、神様に「ごめんなさい」とは、なかなか言えないのです。だから、そんな私たちに代って、イエス様が十字架にかかって、「神様ごめんなさい」と言っておりなしてくださいました。「神様、あの子をゆるしてください。自分で何をしているのか、わからないでいるのです。わたしが代りに罰を受けていますから、どうぞゆるしてください」と祈られたのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のとりなしのお祈りをありがとうございます。私の罪をどうぞおゆるしてください。

4月21日(木)

聖書

マタイ27・45～56

聖句

わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか。 46節

十字架上の第四言です。このみ言葉は、イエス様のあがないのみわざが、たしかに成しとげられたのだということを証明する、とても大切な言葉です。「どうしてわたしをお見捨てになったのですか」とは、イエス様は捨てられるようなことは何もしませんということと、ここでイエス様の上に永遠の刑罰がくだって、本当に父なる神様から捨てられたのだ！ということがハッキリわかるのです。イエス様、私のために捨てられてくださり、ありがとうございます！

いのちの祈り
天のお父様、このイエス様の叫びのみ言葉を感謝します。身代りに捨てられてくださったイエス様を信じます。

4月20日(水)

聖書

ヨハネ19・23～27

聖句

「婦人よ、ごらんなさい。これはあなたの子です」。「ごらんなさい。これはあなたの母です」。 26、27節

十字架上の第三言です。はげしい、はげしい十字架の痛みの中で、イエス様のやさしい、愛のあふれるお姿です。十字架のもとで、心も張りさけそうに悲しみにくれているお母さんのマリヤさんのことを、思っであげたイエス様でした。イエス様の愛を心に感じ、イエス様をだれよりも愛していたお弟子のヨハネさんに、お母さんのめんどろを見てもらうように、十字架の上から話しかけられました！私の心にも、こんな愛とやさしさを満たしてください。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様がどんな苦しみの中でも愛にあふれておられたことを知り、ただただ感動してしまいます。

4月23日(土)

聖書

ルカ23・44～49

聖句

父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます。46節

十字架上の第七言です。人として来られた神の御子イエス様の、地上最後の瞬間です。昼の十二時から午後三時ごろまで昼間なのに太陽は光らなくなり、全地が暗くなりました。聖所の幕が二つにさけて、イエス様は大声で叫ばれたのです。「父よ、わたしの霊をみ手にゆだねます！」と。イエス様を救い主として信じているなら、私たちもやがて地上での終わりの日を迎える時、イエス様のように叫べるのです。救われていることは本当に幸いです。

いのちの祈り
天のお父様、私も救われて、地上での終わりの時、あなたのみ手に、私の霊をおゆだねできますように。

4月22日(金)

聖書

ヨハネ19・28～30

聖句

わたしは、かわく。 28節

十字架上の第五言です。あつーい夏がまたやってきます。すると、毎日のどがかわくよーと、がぶがぶ、水やお茶やドリンクを飲んでしまいますね。十字架の上のイエス様は、血を流されつづけ、そのかわきようは大変なものでした。「わたしは、かわく」と言われ、さし出された酸いぶどう酒を受けられました。これも聖書の預言のとおりだったのです！「わたしのかわいた時に酔を飲ませました」（詩篇69・21）とあるとおりで、感心します。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様のご生涯は初めから終わりまで、聖書のとおりでした。私にもならわせてください。

4月24日(日)

聖書

ヨハネ20・11～18

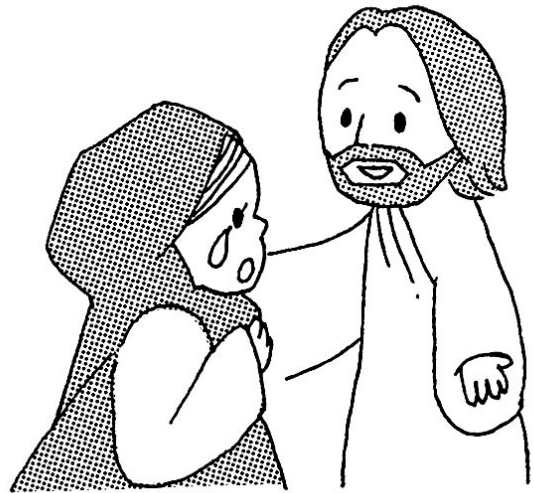
聖句

女よ、なぜ泣いているのか。

15節

あなたが今までで一番つらくて、悲しくて、
いっぱい泣いて、いっぱい涙を流したのはど
んな時だったのでしょうか？ここでマグダラの
マリヤは、こんな悲しいことがあるかしらと、
涙、涙で、泣き続けたのです。それは大好き
な、愛するイエス様が十字架につけられて死
んでしまい、お墓におさめられたのに、三日
目に行ってみると、イエス様のおからだがあ
いのです。「女よ、なぜ泣いているのか」と声
をかけられたのは、復活の主だったではありませんか！イースター、おめでとう!!

いのちの祈り
天のお父様、イースターをありがとうございま
す。復活されたイエス様は悲しみの涙をふき払っ
てくださり感謝です。



聖書

ヨハネ20・11～18

テーマ

復活の主による喜び①

暗唱聖句

女よ、なぜ泣いているのか。

ヨハネ20・15

目標

悲しみの涙を取り除く、復活のキ
リストに出会う。

4月26日(火)

聖書

ヨハネ20・13

聖句

だれかが、わたしの主を取り去りまし
た。そして、どこに置いたのか、わか
らないのです。

13節

涙でうるむマリヤの眼に映ったふたり
の白い衣を着た御使い。ひとりはいエス
様の死体の置かれていた頭の方に、ひと
りは足の方にすわっていて、マリヤに言
いました、「女よ、なぜ泣いているのか」と。
マリヤの心はイエス様への熱い愛でいっ
ぱいです。「だれかが、わたしの主を取り
去りました」と言うマリヤ。「イエス様は、
わたしの主なのです。だれかが取り去っ
てしまつて、どこに置いたのかわからない
のです」と、泣く以外に何もできません。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様をマリヤは「わたしの主」
と言いました。私にとってもイエス様は「私の主」
です。

4月25日(月)

聖書

ヨハネ20・11～12

聖句

しかし、マリヤは墓の外に立って泣い
ていた。

11節

空っぽのお墓をのぞきにやってきたのは、
ペテロとヨハネだったのです。ペテロと言え
ば…そう！もう、だれもがみとめるイエス様
の一番弟子でしたよ。ヨハネと言えば、「イエ
スの愛しておられた弟子」と自分で言うくら
い、イエス様に愛され、そしてイエス様を愛
していたお弟子さんでした。この二人は、「よ
くわからない」と首をかしげながら家に帰っ
て行きました。しかし、マリヤは墓から離れ
られなくて、ずっと墓の外に立って泣いてい
たのです。

いのちの祈り
天のお父様、マリヤはだれよりもイエス様を愛
していたのだとよくわかりました。私もそうあり
たいです。

4月28日(木)

聖書

ヨハネ20・16

聖句

イエスは彼女に「マリヤよ」と言われた。
16節

イエス様はマリヤの愛をひしひしと感じて、心をこめて、愛をこめて、マリヤの名前を呼ばれました。「マリヤよ」と。なつかしい、愛するイエス様に聞きなれた声で名前を呼ばれて、マリヤはハッとふり返って、とびつきたいような思いで、「ラボニ（先生）」と言ったのでした。悲しみの涙は、一気に乾いてしまいました。よみがえられたイエス様は、今も生きておられ、私たちの名前も呼んでくださるのです。悲しみの涙もぬぐってくださいます。

いのちの祈り
天のお父様、小さな私の小さな愛もイエス様は喜んでくださり、名前を呼んでいてくださり感謝します。

4月27日(水)

聖書

ヨハネ20・14～15

聖句

もしあなたが、あのかたを移したのでしたら、どこへ置いたのか、どうぞ、おっしゃって下さい。わたしがそのかたを引き取ります。
15節

御使いたちにマリヤが話していると、マリヤのうしろに復活のイエス様が立たれました。うしろをふり向いたマリヤの眼は、まだ涙でくもっていて、それがイエス様とは全然わかりません。「女よ、なぜ泣いているのか。だれを捜しているのか」と、園の番人がたずねているかと思つて、「わたしがそのかたを引き取ります」と言つたのです。そのマリヤの熱い愛の言葉を聞かれたイエス様は、どんなにうれしかったでしょう！

いのちの祈り
天のお父様、マリヤがどんなにイエス様を愛していたかよくわかります。私もそれほどにも愛したいです。

4月30日(土)

聖書

エレミヤ29・10～14

聖句

あなたがたはわたしを尋ね求めて、わたしに会う。
13節

マグダラのマリヤのことを考えると、きょうの聖書のみ言葉を思い出します。マリヤは、愛するイエス様を尋ね求めました。本当に他のことは何もかも忘れて、「一心に」イエス様を尋ね求めましたね！そして、とうとう、よみがえられたイエス様に、他のだれよりも一番先にお会いできたのでした！あなたもイエス様にお会いしたいですか？どれくらい熱心に求めていますか？教会学校で一心にお話を聞き、お家でも聖書を読んでお祈りしてみてください。

いのちの祈り
天のお父様、マリヤのように、私もイエス様にお会いしたいので、ますます教会学校に励んでいます。

4月29日(金)

聖書

ヨハネ20・17～18

聖句

マグダラのマリヤは弟子たちのところに行つて、自分が主に会つたこと、またイエスがこれこれのことを自分に仰せになったことを、報告した。
18節

ほう・れん・そうー 「エ？ボク、ほうれん草きらいだよ」という子がいますか？このほう・れん・そうとは「報告」「連絡」「相談」のことで、人と人との間の交わりでは、とても大切ですよという意味です。神様と人との間もそうなのです。マリヤは自分が主に会つたことを、まず、報告しました。弟子たちはオドロキだったでしょう。イエス様にお会いした話を、「あかし」と言います。とても感動ですよ。

いのちの祈り
天のお父様、私もイエス様にお会いした人のあかしを聞いて、イエス様のことをもっと知りたいです。

5月1日(日)

せいしよ
聖書

ヨハネ20・19～23

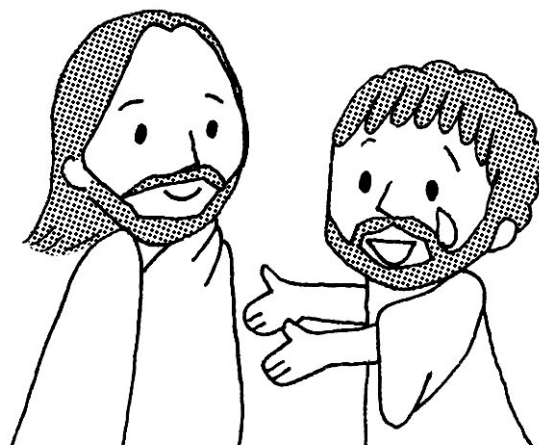
せいこく
聖句

でし 弟子たちは主を見て喜んだ。

せつ
20節

春！春！春！いのちいっぱい、喜びいっぱい
の春ですね！冬が終わったから春が来るので
はありません。この大自然、天と地を造られた
私たちの神様は復活の神様で、この神様が
大自
然を支配しておられるからです。あなたが今
まで一番！喜んだことは何だったでしょう？
ようこにいる弟子たちの喜びこそ、最高の喜
びですよ！何と言ったって、十字架にかかって
くださった愛の主がよみがえられて、今、目の
前に立っておられるのですから！

いの祈り
天のお父様、復活されたイエス様を目の前に見
た弟子たちの喜びは、天にも昇るような喜びだっ
たにちがいません。



せいしよ
聖書

ヨハネ20・19～23

テーマ

復活の主による喜び②

あんしよせいこく
暗唱聖句

でし 弟子たちは主を見て喜んだ。

ヨハネ20・20

もく
目標

信仰の目で復活の主を見、喜びに
満ちて生きる。

5月3日(火)

せいしよ
聖書

ヨハネ20・20

せいこく
聖句

そう言って、手とわきとを、彼らにお
見せになった。

せつ
20節

イエス様は、父なる神様のみ力によって、
死よりよみがえらされたのでした。その復活
のおからだは、しめ切っている戸さえも通り
ぬけていく、朽ちない栄光のおからだだった
のです。だから十字架の釘のあとや、やりで
刺されたあとだって完全に消されて、ピッカ
ピカのおからだになっておられると思ったら
：「手とわき」とを弟子たちに見せられ、「ほ
ら、十字架で死んだわたしだよ」と示されま
した。その傷は弟子たち、私たちへの愛のし
るしです。

いの祈り
天のお父様、イエス様の手とわきの傷あとは、
永遠まで、私への愛のしるしであることを知り、
感動します。

5月2日(月)

せいしよ
聖書

ヨハネ20・19

せいこく
聖句

イエスがいってきて、彼らの中に立
ち、「安かれ」と言われた。

せつ
19節

「大ニュース！」と聞いても、全然信じな
かったら何にもなりませんね。マリヤから聞
いたのに、弟子たちには信じられなかったよ
うです。なぜなら、弟子たちは、ユダヤ人が
イエス様の次に自分たちをつかまえるかもし
れないとおそれ、ビクビクしながら、集まっ
ていた所の戸をピシッと全部しめ切っていた
のです。それなのに、「こんばんはー」って、
なんとイエス様がいってこられるではあり
ませんか。復活のおからだってどうなっ
てん
の!?

いの祈り
天のお父様、恐れる弟子たちの所に入られたよ
うに、イエス様は私の恐れる心にも入ってくださ
り感謝です。

5月5日(木)

聖書

ヨハネ20・22

聖句

そう言って、彼らに息を吹きかけて仰せになった、「聖霊を受けよ」。 22節

心から喜んで、神様のお働きができるために必要なことが何なのかを、イエス様は教えてください。イエス様は、弟子たちに息を吹きかけて言われました、「聖霊を受けよ」とね。聖霊なる神様は、ちょうどオートバイで言えば「ガソリン」のようなものです。ガソリンがなければオートバイは走りません。ランプで言えば油のようです。油がなければ輝きません。聖霊なる神様は復活のイエス様を見てください、喜んで輝いて生きる者になしてください。

いのちの祈り 天のお父様、喜びの油と言われる聖霊によってイエス様が力強く生きられたように、私も聖霊に満たしてください。

5月4日(水)

聖書

ヨハネ20・21

聖句

安かれ。父がわたしをおつかわしになったように、わたしもまたあなたがたをつかわす。 21節

今週は、「喜び」について考える週です。日曜日にも聞きましたが、あなたが今まで一番喜んだことは何でしたか？これから一番喜ぶことは何だと思いますか？きょう、そのことがわかります。そう、神様のお働きができることです。神様のお役に立っているとすると、こんなにうれしいことはありません。イエス様が、私たちをつかわしてくださいというのです。それはちょうど父なる神様がイエス様をこの世におつかわしになったように、なのです。

いのちの祈り 天のお父様、まだまだたくさんの方があなたを知りません。私をつかわして用いてくださり感謝します。

5月7日(土)

聖書

I ペテロ1・3～12

聖句

あなたがたは、イエス・キリストを見たことはないが、彼を愛している。 8節

これは一番弟子、ペテロの手紙です。恐ろしい迫害の中でチリチリ、バラバラにされていた仲間たちに、励ましのお手紙を書きました。クリスチャンたちは心から、目には見えないキリストを愛していましたし、「信じて、言葉につくせない、輝きにみちた喜びにあふれて」いました。復活のイエス様こそ、信じる私たちの喜びのものです。イエス様はいつも共にいてくださり、祈りにこたえてくださり、心にいつも力をください。ハレルヤ！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様を死人の中からよみがえらせてくださったあなたをさんびします。主にあって喜んでいきます。

5月6日(金)

聖書

ピリピ4・4～6

聖句

あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。 4節

このピリピンへの手紙を書いた人はパウロ先生です。この手紙は、牢獄の中にいて書かれたのです！それなのに「いつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい」なんて、よく書けますね...と思うでしょう。『主にあって』というのが秘訣です。復活の主にあつて、です。パウロは復活のイエス様に出会って、180度人生が変えられました。その時以来、どんな時でも、その復活のイエス様と出会った喜びであふれていることができたのです。喜んでいきますか？

いのちの祈り 天のお父様、復活のイエス様を思い、信じて心に仰ぐなら、いつも心の中から喜びがわいてくるので不思議です。

5月8日(日)

聖書

ルカ 2・41～52

聖句

それからイエスは両親と一緒にナザレに下って行き、彼らにお仕えになった。

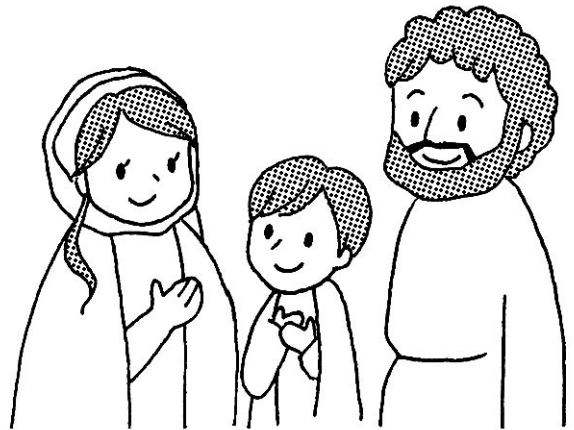
51節

きょうは「母の日」です。全世界で「お母さん、ありがとうー」の声がこだまして聞こえてくるみたいです。今週は十二歳のイエス様に注目します。今だったら小学校六年生ですね。一言で六年生と言っても、それに男の子と言っても、いろいろなタイプのの子がいるでしょう。イエス様はというと、聖書によると、両親と一緒にナザレで生活し、両親に仕えられたとあります。父ヨセフの大工の手伝いや、母マリヤに頼まれておつかいもしたのでしょうね！

いのちの祈り

天のお父様、お母さんを、両親をありがとうございます。私もイエス様のように両親に仕えさせていただきます。

はは ひ
(母の日)



聖書

ルカ 2・41～52

テーマ

両親に仕える神の御子

暗唱聖句

それからイエスは両親と一緒にナザレに下って行き、彼らにお仕えになった。

ルカ 2・51

目標

両親に仕えられたキリストの模範にならい、両親を敬う者となる。

5月10日(火)

聖書

ルカ 2・43～45

聖句

少年イエスはエルサレムに居残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。43節

あなたは迷子になったことがありますか？デパートで「赤いTシャツと白の半ズボンを着た三才くらいの男の子を預かっています」なんて放送されたりしますね！イエス様がいとばかり思って両親は旅行団といっしょに帰っていたら、「アラ!? いない！」とわかってあわてて捜しても、やっぱりいない。とうとう、またエルサレムに戻ってしまいました。エーッ!? イエス様、迷子になられたの？いいえ、ちゃんとわかっていました。わかっていたのは両親のほうでした！

いのちの祈り

天のお父様、迷子はいつも人間です。あなたから離れて迷子にならないように、いつも守っててください。

5月9日(月)

聖書

ルカ 2・41～42

聖句

さて、イエスの両親は、過越の祭には毎年エルサレムへ上っていた。41節

私たちのまわりにはいろんなルール（決まりごと）がありますね。交通ルールで信号を守らないと、大変な事故になったり、命をなくしたりします。神様からの祝福のルールもあるのです。それが神様の律法です。イエス様の両親、ヨセフとマリヤは神様をおそれしこみ敬って、神様のルール（律法）にきちんと従っていたのです。過ぎ越しの祭りという大切な祭は、昔モーセの頃、エジプトから救い出されたのを記念する祭りで、毎年守っていたのです。

いのちの祈り

天のお父様、私も私の両親も、あなたからの祝福を受けられるよう、日曜日に教会へ行けますように。

5月12日(木)

聖書

ルカ 2・48～50

聖句

わたしが自分の父の家にいるはずのこと
とを、ご存じなかったのですか。49節

そこへかけつけたヨセフとマリヤもとても驚いて、マリヤは思わず言いました、「まあ、どうしてこんな事を？ お父様もわたしも心配して、あなたを捜していたのですよ」。するとイエス様は、「どうして捜されたのです？ わたしが自分の父の家にいるはずのことを、ご存じなかったのですか？」と答えました。でも、ヨセフもマリヤも一体何のことなのか言われたことがさっぱりわかりませんでした。イエス様はちゃんと父なる神様からの使命をご存知でした。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様のように、私も早くから、自分は何のために生きるのかを知って励んでいきたいです。

5月11日(水)

聖書

ルカ 2・46～47

聖句

聞く人々とはみな、イエスの賢さやその答に驚嘆していた。47節

小学四年生のスーパー卓球少年少女が現われたり、ティーンズの優秀選手がいろんな世界で活躍するのを見るのは励まされるし、驚かされますよね。イエス様はまだ小学六年生。そんな若すぎるイエス様が宮の中で、立派な教師たちに囲まれ、そのまん中にすわって、話を聞いたり、質問しておられたりしていたのです。聞いていた人々は、あまりに賢いのと、答えのすごさに、あいた口がふさがらないほど驚いていました。何だか身ぶるいしてきませんか！

いのちの祈り
天のお父様、そんなイエス様のことを考えると、私もできるのかなって、やる気が起こされてきます。

5月14日(土)

聖書

ルカ 2・52

聖句

イエスはますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された。52節

知識と知恵とはちがうのです。知識というのは、頭に詰め込むもので、学校で習ういろんな教科ですね。じゃ、知恵は？「主を畏れることは知恵の初め」(箴言1・7 新共同訳)とあります。知恵は、頭よりも心の中に貯えるもので、神様からの尊い教えが中心です。イエス様は、大人の立派な教師たちも驚くような知恵がますます加えられていき、背たけも伸びていきました。さらに、神様から愛され、人々からも愛されて成長していかれたのでした。

いのちの祈り
天のお父様、私も学校の勉強と共に、あなたから聖書を通して学び、イエス様のように成長していきたいです。

5月13日(金)

聖書

ルカ 2・51

聖句

母はこれらの事をみな心に留めていた。51節

「エーッ！お母さん、こんなことも知らないのぉ!」、「まあ、お母さんたら、これぐらいのことともわかんないのぉ!」なんて、小学校六年生くらいになると、ちよつと学校で教えられてくると、時々、口に出したりしませんか？イエス様が言った言葉を、ヨセフもマリヤもその時は、よくわからなかったのです。でもイエス様は、その両親と共にナザレに一緒に帰って、心から彼らにお仕えになりました。母マリヤは、このでき事をしっかり心に留めたのです。

いのちの祈り
天のお父様、イエス様が心から両親を敬い、仕えられたように、私も父と母を敬い、大切にしていきたいです。

5月15日(日)

聖書

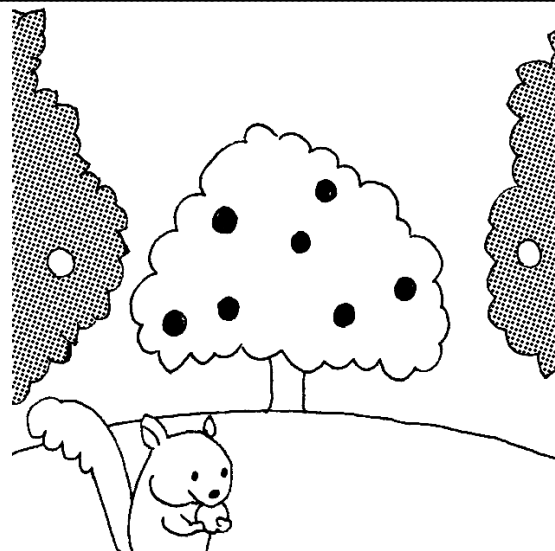
創世記 2・15～17、3・1～7

聖句

善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを食べると、きつと死ぬであろう。 2章17節

イエス様が両親に仕えられたということ
は、両親の言われることによく従われたと
いうことです。「これにはさわってはいけ
ません」と言われるとさわりたくなる！「入
ってはいいけれども」と書いてあると入りた
くなる！それが私たち人間のやることでし
よう。そういうことの始まりが今週のメッ
セージです。罪の始まりですね。つまり神
様の言いつけがちゃんと守れないところか
ら罪が始まってしまいました。「きつと死
ぬ」ということがわかっているのに。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様があなたや両親の言葉に従いぬいたように、私もあなたのみ言葉を信じ従います。



聖書

創世記 2・15～17、3・1～7

テーマ

罪の起源

暗唱聖句

善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを食べると、きつと死ぬであろう。 創世記 2・17

目標

罪が不信仰から生まれることを知り、み言葉に信頼し、従う者となる。

5月17日(火)

聖書

創世記 3・1

聖句

園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか。1 節

へびが好きな子いますか？ 中には、へびにひどい事をしたりする子もいますが！へび、大っ嫌いの子が多いと思います。姿もくねくねしてすぐ気持ち悪いし、毒を持っていたら大変ですものね。何年？ 何十年？何百年？かわかりませんが、幸せなエデンの生活の中に、人を誘惑してきたのがへびでした。最も狡猾な野の生き物だったのです。ずる賢い、悪いやつでしたよ。だから神様の言葉を曲げて、神様は何て厳しいんだと言わんばかりに近づいたのです。

いのちの祈り 天のお父様、あなたのみ言葉を、ちゃんと心に貯えて、決して、曲げたり、だまされたりしないよう注意します。

5月16日(月)

聖書

創世記 2・15～17

聖句

あなたは園のどの木からでも心のままに取って食べてよろしい。 16節

百円払って、ドリンク飲み放題、五百円払って、焼肉食べ放題なんて、「ウハ、ウハ！」ですよ。もう満タンで、食べ切れな。別バラムいっぱい」だなんて、幸せでしょう？ この人は、全くタダで、園の中にあるどの木からでも、思うまま、心のまま欲しいまま、食べたいまま取って食べることができたのです。たった一本の木だけを除いてね。エデンの園には一体何本の木があり、何種類の木の実がなっていたのでしょうか？ 気が遠くなる!!

いのちの祈り 天のお父様、豊かなエデンの園の様子と初めの人の様子を想像します。あなたは本当に豊かな愛のお方です。

5月19日(木)

聖書

創世記 3・4～5

聖句

それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです。 5節

へびはその女の不安気な、自信のない言葉をとらえて言いました。「いいいや、あなたがたは決して死ぬことなんかありませんよ。大丈夫、大丈夫！それを食べるとね、あなたがたの目が開かれるんですよ。そして、なんと、神のように善悪を知る者となることを神は知っておられるんですよ。だからね、取って食べてはいけないと言われたんです。でもね、決して死ぬことなんてありませんよ」と。とっても上手に女の心を揺り動かす誘い方でした。

いのちの祈り
天のお父様、あなたのみ言葉だけに信頼していかねばならないということがよくよくわかってきました。

5月18日(水)

聖書

創世記 3・2～3

聖句

これを取って食べるな、これに触れるな、死んではいけないからと、神は言われました。 3節

「伝言ゲーム」ってやったことありますか？最初に伝える人からまちがって伝えたりしたらみんなまちがえるし、次の人やその次の人が少しづつまちがえると、最後にはとんでもない文になってしまつて、大爆笑ですね！ここでは笑ってなんかいられません。女は神様の言葉を違えて言つてしまいました。神様は、「きつと死ぬ」？「17」と言われたのに、「死んではいけないから」と言われた、と答えました。神様の言葉はそのまま信じて従うべきなのです。

いのちの祈り
天のお父様、あなたのみ言葉を変えたりしないように、そのまま受け入れ、信じ従っていただけるよう助けてください

5月21日(土)

聖書

創世記 3・7

聖句

すると、ふたりの目が開け、自分たちの裸であることがわかったので、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻いた。 7節

するとふたりはそこにバツタリ倒れて死んでしまったでしょうか？いいえ。むしろ、へびが言ったように、ふたりの目が開けたのです。でも見たものは、「うわあ、恥ずかしい、私たち裸なんだわ」。ふたりは急いで、いちじくの葉をつづり合わせて、腰に巻きました。神様とお交わりしていた時は、裸でも少しも恥ずかしいとは思わなかったのです。でも言いつけにそむいた結果、裸を恥ずかしく思い、その恥を隠そうとしたのです。神様の前には隠せないのにな。

いのちの祈り
天のお父様、人類にこのようにして罪と死が入ってきました。あなたのみ言葉のみ信じ従えるよう助けてください。

5月20日(金)

聖書

創世記 3・6

聖句

その実を取って食べ、また共にいた夫にも与えたので、彼も食べた。 6節

神様の言葉とはちがう言葉に耳を傾け、それを心に取入れ入れた結果、恐ろしい罪の誘惑が入りこんできましたね。耳の次には、今度は目ですよ。「女がその木を見ると、それは食べるに良く、目には美しく、賢くなるには好ましいと思われた」とあるとおりです。そしてついに！手に取って、「パクッー」自分だけではないやだったのです、そこに一緒にいた夫にも与えると、彼も、「パクッー」とふたりして食べてしまったのです。何を見るか、ご注意！

いのちの祈り
天のお父様、胸がドキドキするような瞬間でした。この耳で聞くこと、この目で見ることに関心をつけたいです。

5月22日(日)

聖書

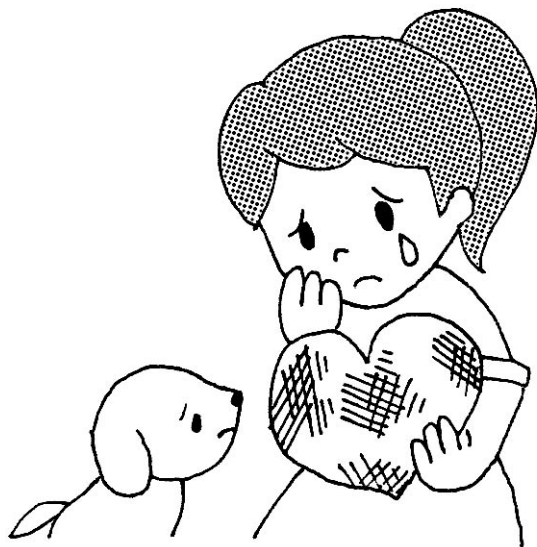
創世記 3・6～19

聖句

罪の支払う報酬は死である。
ローマ 6章23節

お風呂掃除一回五十円、水まき一回五十円、お買物一回百円。お母さんからもらう「お小遣い」のことを、難しい言葉で「報酬」といいます。お母さんが支払ってくれるのですね。きょうのみ言葉では、「罪」という主人に仕えて、罪をどんどん犯し続け、罪の主人に仕えて仕えていくと、終わりに何を支払ってくれるかというと、「死」だということです！これは肉体の死もそうだし、何よりも魂の死、そして最後には神様から離れてしまう永遠の滅びという死なのです。

いのちの祈り
天のお父様、永遠の死ほど恐ろしいものはありません。どんな小さな罪も悔い改められるよう助けてください。



聖書

創世記 3・6～19

テーマ

罪の結果

暗唱聖句

罪の支払う報酬は死である。

ローマ 6・23

目標

罪の結果の恐ろしさを知り、罪を悔い改める者となる。

5月24日(火)

聖書

創世記 3・10～11

聖句

食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか。 11節

人は、恐る恐る神様に答えました、「園の中であなたの歩まれる音を聞き、わたしは裸だったので、恐れて身を隠したのです」と。神様は言われます、「あなたが裸であるのを、だれが知らせたのか」。神様にはすぐにピンときたのでした。続けて言われます、「食べるなど、命じておいた木から、あなたは取って食べたのか」と。神様の目は「まかせませんね。何も神様から隠すことはできないし、だれも神様の目から隠れることはできないのです」。

いのちの祈り
天のお父様、あなたがいつもすべてを見ていることを忘れることなく、あなたの目の前に生活します。

5月23日(月)

聖書

創世記 3・8～9

聖句

主なる神は人に呼びかけて言われた、「あなたはどこにいるのか」。 9節

あなたも何か悪いことをして、こそこそと隠れたことがありますか？ お父さんの大切なものをこわして、隠れたり、お父さんの顔を見られなかったり……。ここで人とその妻とは、神様が日の涼しい風の吹くころ、園の中を歩いてこられる音を聞いて、神様の顔をまともに見られないで、避けて、園の木の間隠れてしまったのです！神様はそんなふたりに「あなたはどこにいるのか」と呼びかけられます。今、あなたにも呼びかけておられるのです。

いのちの祈り
天のお父様、呼びかけてくださり感謝します。罪をおわびして、ちゃんとあなたの前にいる子どもにしてください。

5月26日(木)

聖書

創世記 3・14～15

聖句

おまえは、この事を、したので、すべての家畜、野のすべての獣のうち、最もものろわれる。 14節

罪を犯したふたりに対してももちろんですが、恐ろしい罪の結果をもたらした誘惑者へびに対しても神様は語られます。罪を犯させるといことがどんなに大きな罪かがよくわかりますね。「すべての家畜、野のすべての獣のうち、最もものろわれる」というのです。「お前は腹で、這いあるき、一生、ちりを食べるであらう」というのろいのです。家畜や、野の獣が普通に持っている手も足もありません。四本足といった方がいいのか？ 腹ではあるき、ちりを食べるのです。

いのちの祈り
天のお父様、人を誘惑して、罪を犯させることは、最も大きな罪でのろわれるべきだとよくよくわかりました。

5月25日(水)

聖書

創世記 3・12～13

聖句

わたしと一緒にくださったあの女が、木から取ってくれたので、わたしは食べたのです。 12節

神様にズバリ！言い当てられて、人は答えました、「あの女、あなたがわたしと一緒にしてくださったあの女がくれたので、わたしは食べたのです」と。神様が、今度は女に「なんということをしたのか」と言われると、女は、「へびです、へびがわたしをだましたので、それでわたしは食べたのです」と言いました。こういうのを罪のなすり合いと言います。何でも人のせいにするのです。人は女に、女はへびになすりつけ、へびは地面に、体をなすりつけたですって！

いのちの祈り
天のお父様、まさに罪を犯したふたりの罪まるだしの姿を知りました。あなたの前に正直であれますように。

5月28日(土)

聖書

創世記 3・17～19

聖句

あなたは顔に汗してパンを食べ、ついに土に帰る、あなたは土から取られたのだから。 19節

最後に神様は、人に言われました。たとえ女が木から実を取って彼に与えたとしても、やっぱりそれを食べてしまったのですから、同じく罪を犯してしまったことになるのです。人は、一生、苦しんで地から食べ物を取るようになります。たしかに、農夫たちの苦しみも大変です。寒い時、暑い時の労働は苦しいです。そしてついには、土から取られたので、ちりだから、ちりに帰っていくのです。朽ちる体となり、死が入りこんでしまったのです。

いのちの祈り
天のお父様、罪の結果がどんなにか厳しいものかを知りました。罪から、またその誘惑から、いつもお守りください。

5月27日(金)

聖書

創世記 3・16

聖句

わたしはあなたの産みの苦しみを大いに増す。 16節

赤ちゃんが生まれる時の苦しみは、大変なものです。お母さんが死ぬことだってあるし、赤ちゃんが死ぬことだってあるくらいです。そう考えると、私たちはみんな、「お母さん、そんなにも苦しい目をして、わたしを生んでくれて、本当にありがとう！」と言わなければなりませんね。もちろん「オギャーッ！」て無事、生まれた時の喜びは大きいのですが、その苦しみというのも、実は罪の結果だということがわかります。罪を恐れましょう。

いのちの祈り
天のお父様、女の人が子どもを生む時の苦しみも罪の結果ののろいだとわかりました。罪は犯したくないです。

5月29日(日)

せいしよ
聖書

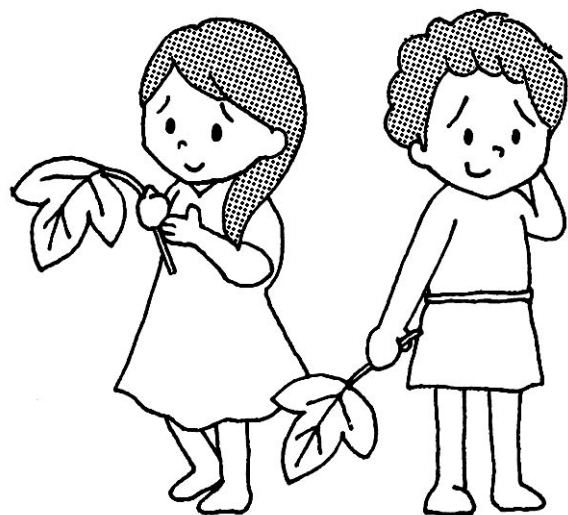
そうせい き
創世記 3・14～24

せいいく
聖句

しゆ かみ ひと つま かわ き
主なる神は人とその妻とのために皮の着
物を造って、彼らに着せられた。 21節

皮膚の洋服持っていますか？とても暖かくて、
身体が守られますよね。何とここにはもうこの
時に、人と妻とが皮の服を着ていたことが
わかります。それは、神様が彼らのために造
られたものでした。皮は、動物の皮です。何
の動物だったのでしょうか？羊かな？山羊かな？
その動物は殺されて、血が流されたのです。
このことは、罪がゆるされ、裸の恥をおおう
ためには、血が流されなければならぬこと
を示しています。これは十字架の主を示して
いるのです。

いの 祈り
てん とうさま ひと つま かわ き もの つく き
天のお父様、人と妻に皮の着物を造って着せた
あなたが、天よりひとり子キリストを救い主とし
て送ってください感謝です。



せい しよ
聖書

そうせい き
創世記 3・14～24

テーマ

すく みち
救いの道

あんしよせい く
暗唱聖句

しゆ かみ ひと つま かわ き もの つく
主なる神は人とその妻とのために
皮の着物を造って、彼らに着せら
れた。 創世記 3・21

もく ひよう
目標

すく し すく
キリストによる救いを知り、救い
を得るものとなる。

5月31日(火)

せいしよ
聖書

ローマ 3・9～18

せいいく
聖句

ぎ じん せつ
義人はいない、ひとりもない。 10節

「ぼくが正しくて、君がまちがっているよ」、
「わたしの方が正しいのよ、あなたが悪いわよ」
と、だれもが口をとがらせて言いませんか？
ところが、聖書には何と書いてありますか？
「義人はいない、ひとりもない」ですって。
あなたも君も私も僕もみんな悪い、罪人！博士
も秀才も美人もお金持ちもみんな罪人。義人、
正しい人はひとりもないのです。最初のひと
妻から生れた子も、またその子も、またその子
のその子も全員残らず罪人です。

いの 祈り
てん とうさま ひと おか つみ とき
天のお父様、はじめの人が犯した罪は、その時
以来、子々孫々に引き継がれてきている事を認め
るしかありません。

5月30日(月)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 3・14～15

せいいく
聖句

かれ くだ
彼はおまえのかしらを砕き、おまえは
彼のかかとを砕くであろう。 15節

ひとが罪を犯した、その時！神様はもうそこ
で、救い主のことを預言されたのでした！
それがこの15節です。救い主は、女の子孫か
ら生れるのです。罪を犯し、夫にも罪を犯さ
せた、その女の子孫からです。神様の「計画
のすばらしさ！彼とは、メシヤ、救い主です。
つまりイエス様は、おまえ、へび、つまり悪魔の
かしら、頭を砕きます。決定的に打ちのめす
のです。悪魔はイエス様のかかとを砕く。す
なわち、十字架にかかれるということです。

いの 祈り
てん とうさま ひと つみ おか すぐ
天のお父様、人が罪を犯したら、すぐにこの救
い主をお約束してくださり、そのとおりにしてく
ださい感謝します。

6月2日(木)

聖書

民数記21・7～9

聖句

すべてへびにかまれた者はその青銅の
へびを仰いで見て生きた。 9節

「ああ、モーセさん、ごめんなさい。私たちは主にも、あなたにも罪を犯しました。どうぞへびを取り去ってもらえるように主に祈ってください」と、民は必死でした。モーセがお祈りをする、神様は言われました、「火のへびを造って、さおの上につけなさい。へびにかまれた人がそれを仰いで見るなら生きる」と。モーセは青銅で一つのへびを造り、それを高くさおの上につけました。その青銅のへびを仰いだ人は、なんと、生きた！のでした。

いのちの祈り

天のお父様、へびにかまれた人々の救いは、ただあなたがモーセに造らせたへびを仰ぐことだけだったことがわかりました。

6月1日(水)

聖書

民数記21・4～6

聖句

へびは民をかんだので、イスラエルの
民のうち、多くのものが死んだ。 6節

「エーッ、一体それではどこに救いがあるの!?」って叫んでしましますよね。では、その救いをいっしょに求めましょう。きょうの場面は、リーダーのモーセのもとにイスラエルの民が荒野を進んでいる時のことです。民はしんどくなつて、神様とモーセにつぐやいて文句を言ったのです。「われわれをこの荒野で死なせる気か!?」と。神様は火のへびを送ったので、へびにかまれて多くの民がバタバタ死にました。罪人というのはまさにこういう人々です。

いのちの祈り

天のお父様、生まれつきの人は皆、あなたにそむきつぐやき、罪の毒の中で何一つ良いことができない死人のようです。

6月4日(土)

聖書

ヨハネ3・16

聖句

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。 16節

あの最初の人と妻が木の実を食べて罪を犯したとたんに、救い主の預言がなされたのでしたね。一体、何年後のこと？いえ、何千年後ですよ！約束のとおり、神様は、尊いたったひとりの、かけがえのないお方、イエス・キリストを天よりお贈りくださったのでした！それは格別の、超スペシャルな愛でした。そして、この御子を信じるならばひとりも滅びないばかりか、永遠の命が与えられるのです！ たった一つの救いの道です。

いのちの祈り

天のお父様、私の罪の代わりに十字架に死んでくださった救い主を心より信じて仰ぎます。救いを感謝します。

6月3日(金)

聖書

ヨハネ3・14～15

聖句

ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。 14節

「さおの上のへび」へびにかまれて毒がまわり、死にかけていた人々が仰いで見て、生きた！「さおの上のへび」イエス様は、ちょうどこのへびのように上げられねばならないと、イエス様が言われます。そうです、イエス様はやがてかけられる十字架のことをおっしゃったのです。「それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである」(16)とあります。イエス様が十字架ですべての罪ののろいを受けてくださったので、仰いで信じると救われます。

いのちの祈り

天のお父様、イエス様が私のために十字架にかかってくださったこと、私の罪をゆるし、永遠の命をくださることを信じ感謝します。

6月5日(日)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 4・1～8

せいいく
聖句

信仰によって、アベルはカインよりも
まさったいけにえを神にささげ…た。
ヘブル11章 4節

神様に最初に造られた人はアダム（土）と呼ばれ、その奥さんの名前をエバ（母）と名づけました。ふたりの間に「オギヤア」と生まれたのはカインという男の子で、次に「オギヤア」と生まれたのはアベルという弟でした。カインは農夫、アベルは羊飼いなリ、主に供え物をしました。アベルと供え物の動物は喜ばれましたが、カインとそ
の地の産物の供え物は顧みられなかったの
す。神様は穀物よりお肉がお好きなんだ？
…そうではないのですよ。

いの
祈り
てん
天のお父様、信仰によってアベルが供えたさ
さげ物が喜ばれたということをよく学んで、ならわ
せてください。



せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 4・1～8

テ マ

かみ よろこ
神に喜ばれるささげ物

あんしよせい
暗唱聖句

信仰によって、アベルはカインよ
りもまさったいけにえを神にささ
げ…た。ヘブル11・4

もく
目

かみさま よろこ
神様に喜ばれるささげ物をする者
となる。

6月7日(火)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 4・5～7

せいいく
聖句

しかしカインとその供え物とは顧みら
れなかったの、カインは大いに憤っ
て、顔を伏せた。5節

同じお話を教会学校で聞いていても（よ
く耳と心をすませて聞いている！）右の耳
から左の耳にぬけていってしまふ子と、ち
やーんと心に大切にしまふ子どもとは、ず
い分ちがつてくるのですよ！カインはア
ベルと一緒に聞いていたでしようけれど、
アベルのようなへりくだった信仰の心は持
たなかったのです。どうだ！この私が収
穫した地の産物は、立派なものだと言わん
ばかりにささげました。神様からの太陽や
水や土や風によってあたえられたのにな。

いの
祈り
てん
天のお父様、受け入れられなくて憤って顔を伏
せたカインの姿から、ささげる心もまがっていた
のがわかります。

6月6日(月)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 4・1～4

せいいく
聖句

主はアベルとその供え物とを顧みられ
た。4節

あなたもお父さんやお母さんから、あなた
が生まれる前のお話をよく聞いていますか？
神様を信じているお父さんやお母さんからは、
「信仰」や「教会」や「イエス様」のこと
を聞くでしょうね。カインもアベルもそうで
した。きつと昔、罪を犯した時、神様が動物
の皮で着物を造ってくださったことも聞いて
いました。だからアベルは自分が罪深いこと
、動物の血が流されて、その罪がきよめられる
と信じて、大切な初子と肥えたものをおささ
げしたのです。

いの
祈り
てん
天のお父様、あなたの前に、アベルのへりくだ
った心と供え物とが、なぜ喜ばれ受け入れられた
かわかりました。

6月9日(木)

聖書

創世記4・9～12

聖句

あなたは何をしましたのです。あなたの弟の血の声が土の中からわたしに叫んでいます。 10節

神様は、す・べ・てを知っておられます。全知の神様というのです。カインに、「アベルはどこに？」とたずねると「知りません。弟の番人ではありません」と答えました。しかし、「あなたの弟の血の声が土の中からわたしに叫んでいます」と神様は言われました。どのように叫んでいたのでしょうか。実は、このアベルの血よりもっと強く叫ぶイエス様の血は、「父よ、彼らをゆるしてください」と、今も私のために叫んでいてくださるのです。

いのちの祈り 天のお父様、私に代わって十字架で死なれたイエス様の血が、今も永遠までも叫んでいてくださり感謝です。

6月8日(水)

聖書

創世記4・8

聖句

彼らが野にいたとき、カインは弟アベルに立ちかかって、これを殺した。 8節

「神様は不公平だー」「神様にはぼくの気持ちなんか全然わかっていないんだー」とか思う心があると、要注意ですよ。カインの心にもこんな思いがむくむくわきあがり、供え物が受け入れられたアベルに対して、ねたみと憎しみの炎がメラメラ燃えてきたのです。たったひとりの弟なのにね。そして、ついに、ある日、「野原へ行こう」と誘い、そこでカインは弟アベルに立ち向かい、思いっきり打ちたたき、殺してしまいました。悲しく恐ろしいことでした。

いのちの祈り 天のお父様、人類最初の殺人の様子を知らしました。怒りや不信仰やねたみ、憎しみの心からお守りください。

6月11日(土)

聖書

ローマ12・1

聖句

あなたがたのからだを、神に喜ばれる、生きた、聖なる供え物としてささげなさい。 1節

では、今、私たちがささげる、神様に喜ばれるささげ物は何でしょうか。毎週日曜日、教会学校の礼拝でおささげる献金、たとえそれが少しのものであっても神様は喜んでくださって、おこずかいを祝福してくださいませよ！そして、何よりも、私たちのからだを、全部を、「神様のものです」とおささげすることです。きよい神様のものである頭(何を考える？)、手(何をやる？)、足(どこへ行く？)、心(何を思う？)を神様は喜ばれます。

いのちの祈り 天のお父様、この私を丸ごとあなたにおささげします。あなたも喜んでくださりうれしいです。

6月10日(金)

聖書

ヘブル11・1～4

聖句

彼は死んだが、信仰によって今もなお生きている。 4節

「人間は死んでしまい、お墓に入れられたら、もう何も言えないし、何もかもおしまいだー」と、あなたは思いますか？ いいえ！そうではないのです。その人のこれまで生きてきた姿や、しゃべってきた言葉が、大きく力強くものを言うのです。地上の命ってそんなに尊いのです。(イエス様を信じると永遠の生涯になるのですが)アベルは殺されても、彼の信仰によって、今もなお語っています。イエス様を信じて眠っている(死んだ)人もそのようなのです。

いのちの祈り 天のお父様、信仰のすごさ、すばらしさを思っています。私も、死んでも力強く語り続ける信仰の人になりたいです。

6月12日(日)

聖書

使徒 1・3～8

聖句

ただ、聖霊があなたがたにくる時、
あなたがたは力を受けて、…わたしの
証人となるであろう。 8節

ペンテコステ、心よりおめでとうござい
ます！へ？ペンテコステ？ペンテコリン
な名前だなどと思うかしら。これはすばらし
い記念日の名前なのです。イエス様は十字
架で死に、葬られて、三日目によりみがえら
れ、何と四十日の間復活のお姿を弟子たち
にあらわされました。それから天に帰って
行かれましたが、その代わりに「聖霊なる
神様」が天から注がれました。この聖霊に
満たされてペテロが話すと、三千人の人が
イエス様を信じて、教会が誕生しました！

いの祈り
天のお父様、ただ聖霊に満たされてはじめて力強
くあなたをあかすことができます。聖霊に満たされるよ
う求めます。

ペンテコステ・花の日



聖書

使徒 1・3～8

テーマ

聖霊の恵みを求める

暗唱聖句

ただ、聖霊があなたがたにくる
時、あなたがたは力を受けて、…わ
たしの証人となるであろう。

使徒 1・8

目標

聖霊に満たされることの必要を知
り、聖霊の恵みを求める。

6月14日(火)

聖書

使徒 1・4～5

聖句

エルサレムから離れないで、かねてわ
たしから聞いていた父の約束を待って
いるがよい。 4節

「おつかい行ってきてー」「ハーイー！つ
て、お金も持たず、何を買ってくるのか
も知らないで出かけて行く人はいないで
しょう！ちゃんと用意すべきことをして
から、「行ってきまーす」ということにな
るのです。「神の国の福音」、「イエス様の
福音」を人々に力強く伝えていくために、
一番必要な用意は何でしょう？「父の約
束」つまり、聖霊によるバプテスマを授
けられるということなのです。そのため
にエルサレムにとどまって待ちなさいと。

いの祈り
天のお父様、あなたのお約束である聖霊による
バプテスマを私も授けられて、イエス様を伝えたいです。

6月13日(月)

聖書

使徒 1・3

聖句

四十日にわたってたびたび彼らに現れて、
神の国のことを語られた。 3節

今年のイースター（復活祭）は何日だった
か覚えていますか？そう、四月二十四日(日)で
したね。盛大にイースター祭りをしたでしょ
うか？たくさん新しい人たちが、お友だちが
教会に招かれて来られたでしょうか。その日
から数えて昨日が五十日目だったのです。復活
されたイエス様は、四十日の間、あちらこ
ちで、たびたび弟子たちの前に現れてくださ
いました。その様子も学びましたね。そして
「神の国」のことをしっかりと弟子たちに語ら
れたのです。

いの祈り
天のお父様、イエス様は「神の国」を教えてください
ださるために来てくださいました。「神の国」を待
ち望みます。

6月16日(木)

聖書

使徒 1・8

聖句

ただ、聖霊があなたがたにくだるとき、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。8節

「私、教会に行ってるのよ」って、お友だちに言えない子がいますか？聖霊に満たされると、喜んで言えるのです。お祈りして求めてみてください。弟子たちは、まず自分たちが住んでいたエルサレムからはじめて、「イエス様こそ救い主です」と大胆にあかししていきけるように、十日間、お祈りして、聖霊の降るのを待ち、ついに注がれたのです。この聖霊の働きにより、イエス様のことが地のはて日本まで届きました！

いのちの祈り
天のお父様、私も聖霊に満たしてください。家族のみんなに伝えて家族でイエス様を信じられますように。

6月15日(水)

聖書

使徒 1・6～8

聖句

ただ、聖霊があなたがたにくだるとき、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。8節

復活のイエス様を見た弟子たちは、それこそ勇気百倍、イエス様へは100%信頼。「いよいよイスラエルの国を、ローマから独立させて復興させるのですか」とたずねます。「それは父にお任せするとして、あなたがたが聖霊に満たされると力を受けて、わたしの証人になるのだよ」と言われます。この力はこの世の軍勢力や武力ではなく、主の証人として生きていく力のことなのです。

いのちの祈り
天のお父様、この世の国でなく、神の国は聖霊に満たされた人たちによって広がっていくことがわかりました。

6月18日(土)

聖書

マタイ 6・31～34

聖句

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。33節

何を食べようかな、何を飲もうかな、何を着ようかな、明日はどんな日になるのかな、あさってはどうかかな、あのことはどうなっているのかな、このことはどうなのかなって、ドキドキ、ハラハラ、くよくよしたりする子はいませんか？イエス様が、「みんな大丈夫だよ、何にも心配することはありませんよ。とにかく、神様は全部わかってくださって、よくしてくださいますから！まず、第一に神様を求め信じていきましょう」と言われます。

いのちの祈り
天のお父様、きょうの言葉がありがとうございます！いろいろな心配するのをやめて、教会学校に励みます！

6月17日(金)

聖書

マタイ 6・28～30

聖句

野の花がどうして育っているか、考えなくて見るがよい。28節

六月十二日(日)は、ペンテコステ記念日だったと共に、花の日・子どもの日・礼拝でもありましたね。きれいなお花を素敵なお花束にしたり、バスケットにアレンジして、病気の方々やさびしい方々にお届けしましたか？イエス様は、野の花を見なさい、アレコレ心配したりしないようにとお話しされたのです。野の花は、働いたりすることもなく、神様に造られたありのままの姿で、まぶしいくらい美しく輝いて咲いています。あなたのことも心配して下さっています。

いのちの祈り
天のお父様、私も野の花たちのように、すっかりあなたにおまかせして、安心して喜んで生きていきます。

6月19日(日)

せいしよ
聖書

マタイ5・43～48

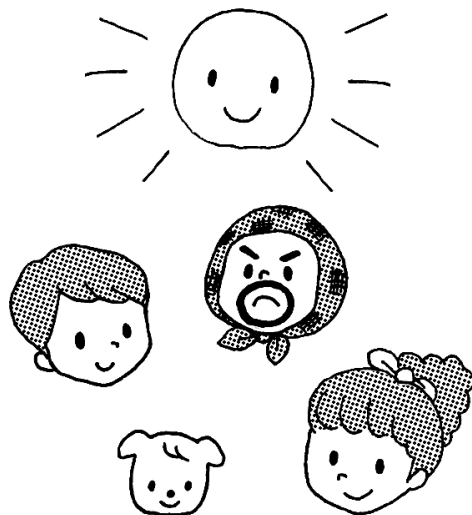
せいいく
聖句

てん ちち わる もの うえ もの うえ
天の父は、悪い者の上にも良い者の上
にも、太陽をのぼらせ 45節

きょう けい
今日は、「お父さん、ありがとう！」の日曜
日です。今日だけでなく、毎日、いつもそんな
きもち たい
気持ちでいたいですね。特に「天のお父様」には
もちろんね！ 今週は大きな広い豊かな天の
ちち あい せいしよ まな わたし
父の愛を聖書から学び、私たちもそんな愛で
たが あい ああ かみ こ
互いに愛し合える神の子どもにされましょ。う。
てん ちち わる もの うえ もの うえ
天の父は悪者の上にも良い者の上にも同じよ
うに太陽をのぼらせ、雨を降らせてください
ます。そんな天の父に、どれだけの人が気づ
いているのかしらと思ってしまうませんか？

いの 祈り
てん とうさま あい ひろ
天のお父様、あなたの愛はあまりにも広すぎま
す！ あなたのこの愛にしっかり目が開かれ、伝え
ていきたいです。

ちち
父の日



せい しよ
聖書

マタイ5・43～48

テーマ

てん ちち あい
天の父の愛

あんしよせい く
暗唱聖句

てん ちち わる もの うえ よ もの
天の父は、悪い者の上にも良い者
うえ たいよう
の上にも、太陽をのぼらせ

マタイ5・45

もく 目標

てん ちち かみ あい し
天の父なる神の愛を知り、どんな
ひと あい もの
人をも愛する者となる。

6月21日(火)

せいしよ
聖書

マタイ5・40

せいいく
聖句

うった した き と
あなたを訴えて、下着を取ろうとする
もの うえ ぎ あた
者には、上着をも与えなさい。 40節

ユダヤの人たちにとって、昔、モーセの時
だい
代のころから、上着はとても大切なもので、
たとえ、質に入れたとしても、夕方には返し
てあげなければなりませんと、神様の律法に
さえ記されていたのです（出エジプト22・26）。
なぜなら、その上着を着て寝るからです。
さむい 夜の毛布がわりだったのです。でも裁判
で訴えてきた人が、下着を取ろうとするなら、
下着はもちろん上着も与えなさいとイエス様
は言われます。天の父の愛は徹底してますね！

いの 祈り
てん とうさま わかし りっぼう
天のお父様、昔の律法さえも超えてしまうあな
たの愛に圧倒されます。そのようにしてあなたの
あい あつとう
愛を示します。

6月20日(月)

せいしよ
聖書

マタイ5・38～39

せいいく
聖句

もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、
ほかの頬をも向けてやりなさい。 39節

てん ちち ひろ ひろ あい
天の父の広い広い愛に目が開かれていって、
この父の子どもと生まれ変わってはじめで、
イエス様が教えていくことができることが実行で
きるのですね。もしかして、お友だちから右
のほったたをパチンとぶたれたら、あなたも
相手のほったたをパチンパチンとぶってしま
いますか？「天の父の子どもはそうはしない
のだよ」と、イエス様は言われます。右の頬を
打たれたら、左の頬も、「どうぞ」って出すの
ですって！こちらは気持ちいいし、相手は「気
持悪い！」って!?

いの 祈り
てん とうさま ほんとう しょうり
天のお父様、そうしてこそ、本当の勝利なんだ、
あなたの愛による勝利なのだとわかります。実行
したいです。

6月23日(木)

聖書

マタイ 5・42

聖句

求める者には与え、借りようとする者を断るな。 42節

天の父の愛は、いつでも相手のことを思い、相手の心を大切に、相手が望んでいることをしっかりと満足させてあげたいという、思いやりいっぱい愛だということがわかってきませんか？自分のことしか考えられない人の心は小さく貧しい、愛のない心なのです。だから求める人が求めてきたら、与えるのです。もちろん何を求めるかにもよりますが、借りたという人には、断らないで貸してあげなさいと言われる。相手の人はどんなに感謝でしょう。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの愛にあふれた心がわかってきて、とてもうれしいです。求める人の心にこたえてあげたいです。

6月22日(水)

聖書

マタイ 5・41

聖句

もし、だれかが、あなたをしいて一マイル行かせようとするなら、その人と共に二マイル行きなさい。 41節

イエス様の時代、ユダヤの国はローマに支配されていて、急に仕事をさせられることが多かったのです。無理矢理一マイル先まで行きなさいと言われたら二マイルでも行きますという心でいなさいというイエス様の教えです。お父さんから、「あそこの店で買ってきて」と頼まれて、「いやー」「自分で行けば」とか言いますか？そうではなく、「ハイ！行って、買ってきますよ、他に買うものない？」と言うのが二マイル精神ですよ。スマイルでね！

いのちの祈り 天のお父様、無理矢理、何か頼まれても、いやがらないで、頼まれた以上のことを喜んでできますように。

6月25日(土)

聖書

マタイ 5・46～48

聖句

あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。 48節

天の父なる神様も、イエス様も、神様なので「完全」です。でも、「私たち人間は、みんな罪人だったし、弱いし、そんな完全な人間になんて、絶対になれっこありませんよ」と思いますよね。もちろん、失敗したり、また罪を犯したりする私たち、そのつど、おわびし、十字架を仰いでゆるしていただきます。が、この「完全」は、「愛することにおいての完全」ですよ。「天の父のように、私も同じように愛していきます」という完全です。

いのちの祈り 天のお父様、あなたの愛に満たされ完全な者として生きて、まわりの人にあなたのことを知らせあげたいです。

6月24日(金)

聖書

マタイ 5・43～44

聖句

敵を愛し、迫害する者のために祈れ。 44節

昔ユダヤ人たちは、「隣り人を愛し、敵を憎め」と言っていたようですが、イエス様は、「敵を愛し、迫害する者のために祈れ」と言われました。これこそ、父なる神様の愛、ギリシャ語で特別な言葉を使いますが、『アガペーの愛』そのもので、愛のクライマックス（頂点）だと思います。「えーっ、そんなこと、敵を愛するなんて、できるの!?」と思うでしょう。その鍵は、『祈り』ですよ。迫害する者のためにも祈る、敵のためにも祈る（ー）と、心が変わられていくのです。

いのちの祈り 天のお父様、お祈りは不思議で、素晴らしいものです。お祈りで、あなたの愛の空気が心に入ってくるのです。

6月26日(日)

せいしよ 聖書

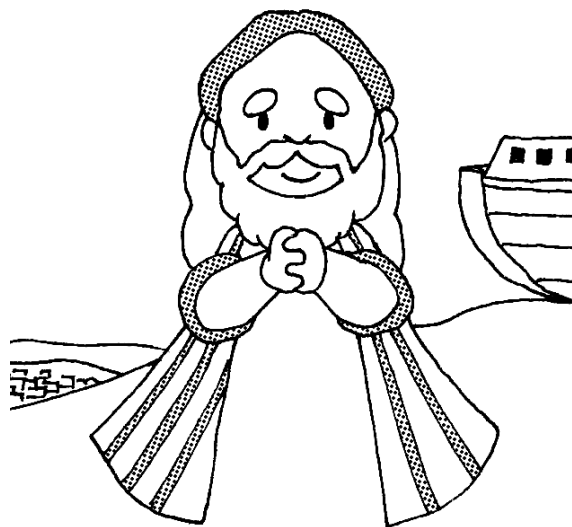
そうせい き 創世記 6・9～22

せいいく 聖句

ノアはその時代の人々の中で正しく、かつ全き人であった。 9節

「みんながやってるから、私も同じようにしなきゃ、乗り遅れちゃう」とあなたも思いませんか？でもその世の中は大きな広い流れで、実は滅びにまっしぐらです！ノアの時代（今から五千年くらい前。ヒエーツ！）の世の中はまさに滅びゆく川のように流れていました。世の中の流れに逆らって、きよい神様ときよい毎日を送っていました。いつの時代でも神様を信じる事が一番大切です。

いの 祈り
天のお父様、ノアとその箱舟について心に深く
とめ、世の中に流されないで、あなたを信じて歩
ませてください。



せい しよ 聖書

そうせい き 創世記 6・9～22

テーマ

まっ た ひ と 全き人ノア

あんしよせい いく 暗唱聖句

ノアはその時代の人々の中で正しく、かつ全き人であった。

そうせい き 創世記 6・9

もく ひよう 目標

よ なが 世に流されず、神を信じ、従う者となる。

6月28日(火)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記 6・14～16

せいいく 聖句

あなたは、いとすぎの木で箱舟を造り、箱舟の中にへやを設け、アスファルトでそのうちそとを塗りなさい。 14節

ノアの驚きはどんなだったでしょう。「すべての人を絶やすだっって!?」さらに驚くとを神様から命じられました。いとすぎの木で箱舟を造りなさいと言われます。水が入らないように内外をアスファルト（木のやにとかタール）で塗るように。大きな指定もあります。長さ135m、幅22.5m、高さは13.5mです。なんと巨大！45cmの屋根を造り、その横に戸口をつける。箱舟は三階建に造るようにと！耳を澄まして聴くノアの内臓はドキドキだったかもしれません。

いの 祈り
天のお父様、ノアがどれほどあなたに信頼されていたのかよくわかります。難しい命令もきくと守ってくれと。

6月27日(月)

せいしよ 聖書

そうせい き 創世記 6・11～13

せいいく 聖句

そこで神はノアに言われた、「わたしは、すべての人を絶やそうと決心した」。

13節

覚えていますか？神様はとても大きな愛と喜びをもって、「われわれのかたちに人を造ろう」と言って造られたこと。しかし、アダムとエバが罪を犯し、死が入り込み、地は人の悪で満ち満ちてきたのです。人の心は悪い思いでいっぱいでした。神様は、とつても心を痛め、人を造ったのを悔いて、一大決心をしました。そしてノアにその決心を打ち明けたのです。ノアはその時、たったひとりの神様から信頼されていた友だったのようだったのですね。

いの 祈り
天のお父様、私もノアのように、神様を一番のお友だちのようにして歩んでいけますよう助けてください。

6月30日(木)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 6・18

せいいく
聖句

あなたは子らと、妻と、子らの妻たち
と共に箱舟にはいりなさい。 18節

「ただし、わたしはあなたと契約を結ぼう」と、神様はノアに言われるではありませんか！ノアは、ますます耳をすませて聴きます。「あなたは子らと、妻と、子らの妻たちと共に箱舟にはいりなさい」。そうです、ノアただひとりではありません。神様はノアの家族も箱舟にはいるように命令されました。そう、招いてくださったのです。神様の約束は、「主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます」（使徒16・31）です。

いの
祈り
天のお父様、あなたは、あなたを信じる私と共に、大切な家族も救うと約束してくださり感謝いたします。

6月29日(水)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 6・17

せいいく
聖句

わたしは地の上に洪水を送って、命の息のある肉なるものを、みな天の下から滅ぼし去る。 17節

ノアは、なぜ神様が、そんなでかい箱舟を造らせようとされているのか、神様の次の言葉を聞いてはつきりとわかりました。神様は、この地に、大洪水を送ろうとしておられるのだと。その洪水を送ることによって、命の息のある肉なるものを、みな天の下から滅ぼし去る。地にあるものは、みな死に絶えるであろうと言われます。私たちのまわりで川のはん濫で何もかもぬぐい去られ押し流されるのをみますが、ここはそれどころではないのです。

いの
祈り
天のお父様、あなたの一大決心は何と恐ろしくも厳肅だったことでしょう。ノアも恐れおののいたことでしょう。

7月2日(土)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 6・22

せいいく
聖句

ノアはすべて神の命じられたようにした。 22節

このみ言葉こそが、ノアが「全き人」だったことをよくあらわしています。ノアは、乱れまくっていた世の中の人々の言うことは聞かず、やることにも近づかず、世の中の流れとはちがった道を歩みました。それは、神様のみ声を聴いて、そのみ声には絶対的に従うという道でした。信じていたから従ったのです。だから、どんなに「大変！」と思えるようなことでも従い切ったのです。すべて命じられたようにしました。ここまで信じぬいて従い切りたいね！

いの
祈り
天のお父様、私の生き方も、ノアのように、あなたのご命令（み言葉）にとことん従う生き方でありたいです。

7月1日(金)

せいしよ
聖書

そうせい き
創世記 6・19～21

せいいく
聖句

またすべての生き物、すべての肉なるものの中から、それぞれ二つずつを箱舟に入れて、あなたと共にその命を保たせなさい。 19節

「ワイー！ノアの箱舟って、動物園だったんだ、いいなア」ってうらやましがっていますか。大変でしたよ。ペットを一匹飼うだけでもけっこう大変でしょう？食べさせる、散歩させる、寝床をきれいにする、病気になるともっと大変！神様はすべての鳥や獣やはうものの雄と雌を入れて、命を保たせました。ノアと家族と生き物たちのための食物となるものも、とってたくわえさせました。ノアさん、本当にご苦労さまです！

いの
祈り
天のお父様、箱舟の生活は丸一年と十日でした。あなたの愛の心づかいなしにはあり得ないことだったと思います。